

いい仕事は、いい求人誌に。

Arbeit

HOKKAIDO

アキタ

2010
4/26

[月曜版] 150yen
No.3895 月曜・木曜発行

ほめられたら
もっと頑張るワタシです。

今週の求人特集

ファッション業界特集

理美容のシゴト

エステ・ボディケアのシゴト

楽しい仲間がまっている!

学生歓迎のおシゴト特集

注目の読み物!

アルキタPick up!
ECOに、はたらく。



北海道の
インディーズ応援
プロジェクト
オトキタ
artist interview



アキタ *navi*

パソコンから、らくらくアクセス!
インターネットの総合求人情報
<http://www.arukita.com/>



携帯電話でバイトを探すなら「公式メニュー」からアクセス! [i-mode・Yahoo!ケータイ・EZweb] 公式メニュー → [アルキタnavi]

アルバイト北海道は
「木づかい運動」を
促進しています。
B-(3)-060004

MON
場所
さがす!

アルキタ
Pick up!

ECO に、はたらく。

家庭での省エネから企業が行う大規模な環境対策まで、近ごろではさまざまな分野で環境に配慮した取り組みが行われています。そうした中から、今、北海道発で注目を集めているECOな活動をアルキタがピックアップ! 第1弾は環境に優しい素材を使い森林保全に貢献する「エコ名刺」です。

vol.1 | エコ名刺 日新堂印刷株式会社

使用済みのペットボトルや農場で廃棄されるバナナの茎、帆布、トウモロコシの皮などを材料の一部に使用した名刺。木材パルプの使用を減らし、森林の保全に貢献。

渡す人から受け取る人へ 環境について考える きっかけになれば。



代表取締役 阿部晋也さん

1971年札幌生まれ。1992年に家業の日新堂印刷株式会社へ入社。2003年より再生ペットボトル名刺の販売を手掛け、さまざまなエコ素材の名刺を開発。



「エコ素材で名刺を作ろうと考えたきっかけは？」

私たちが最初に手掛けたのは、ペットボトルをリサイクルした名刺でした。といっても、初めからエコや環境問題に強い関心があったわけではなく、取引先である飲料メーカー様から「リサイクルした、ペットボトルを使った名刺を作れないか」と相談されたのがきっかけなんです。もちろん、弊社は街の小さな印刷屋ですから、そうしたノウハウなどありません。話を聞いた際は「出来ません」と、断ろうかと思ったほど(笑)。しかし、いろいろと調べてみると大阪のある工場でペットボトルからプラスチック製のシートを作っていることが判明。交渉の末、名刺用のシートを作っていただけになり、自社で専用の印刷機を導入して名刺を作れるようになったんです。

「ペットボトル以外の素材を使用するようになったのは？」

ひとつの理由としては、リスクの分散です。名刺の原料になるペットボトルにも相場があつて、例えば原油の価格が高騰すると、ペットボトルの価格も上昇します。いかに環境に良いとはいっても、高すぎる名刺はお客様に使ってもらいたくありません。ならば、ペットボトルが高騰した際、何か代わりにするような環境に良い素材はないかと考えたんです。そうしてたどり着いたのがバナナの茎を使ったバナナペーパーでした。バナナは世界各地で生産されていますが、その茎はゴミとして大量に廃棄されています。バナナの茎は、実はパルプの原料に向いていて、古紙を混ぜることで名刺用の紙としてリサイクル可能。そこでバナナペーパー名刺がラインアップに加わりました。

「名刺を使うことで、募金ができる仕組みがあるのか？」

ペットボトルの名刺を一般のお客様向けに販売する際に考えたのが、名刺を使うことで環境問題や福祉に取り組む団体に募金できる仕組みです。現在募金をしているのは(財)北海道新聞野生生物基金、(財)日本盲導犬協会、日本ウミガメ協議会、エコサファリーの4団体。名刺の代金にあらかじめ募金額が含まれていて、名刺1枚につき1円募金。どの団体に募金するかは名刺を作る際を選ぶことができます。多くのお客様にご賛同いただいた結果、昨年は北海道新聞野生生物基金に17万8,900円募金することができました。

また、ラインアップを増やしたもう一つの理由として、ペットボトル名刺を作ったことで、私たちの環境に対する考え方や名刺そのものについての見方が変わったことも挙げられます。例えばペットボトル名刺を差し出すと、大抵の方は感触の違いに驚かれます。「何でできてるんですか?」「実はペットボトルをリサイクルしたんです」と、初対面の人でも環境をテーマに話が弾んだりする。私自身、そうした経験を重ねたことで、「名刺でも環境問題を考える輪が広がられる」「出合いの瞬間のコミュニケーションを豊かにする」と、名刺の力を改めて見直し、エコ名刺を核にしたビジネスを広げたいこうと考えるようになったんです。

さっぽろ大通公園とうきびワゴンの「とうきびの皮25%」使用。

代表取締役
エコ太郎
Taro Eco

間伐材パルプ使用

代表取締役
エコ太郎
Taro Eco

バナナの茎30%使用

代表取締役
エコ太郎
Taro Eco

～バナナ名刺とは～

バナナは3ヶ月～8ヶ月で成長し、一度実をつけると枯れ、速やかに芽を出さず多量にバナナ皮を排出する。この排出物から紙の原料として木質の廃棄物と見なされ、その中の繊維が、紙の原料となる「パルプ」を作るのに適している。そこで、果皮を一切使わない製法で茎をパルプ化、名刺をTON製紙、名刺同紙を作製いたしました。



とうきびペーパー名刺

札幌市民には馴染み「とうきびワゴン」で廃棄されるときび(とうもろこし)の皮を使用。木材の使用を削減できる環境配慮型名刺。

間伐材名刺

間伐材とは森林が成長する過程で間引かれる立木のこと。間伐材を積極利用することで、山林の生育が促される。

バナナペーパー名刺

収穫後は捨てられていたバナナの茎をパルプ化。化学薬品を使わず水だけでパルプを作るため、環境にも優しい。

日新堂印刷のエコ名刺

- ◎ペットボトル再生材名刺
- ◎とうきびペーパー名刺
- ◎帆布名刺 ◎バナナペーパー名刺
- ◎ヨシ名刺 ◎ケナフ名刺 ◎間伐材名刺



ビジネス用からプライベート用まで豊富なデザインを取り揃えています。

広報担当
長尾利華さん

北海道アルバイト情報社のエコ活動

私たちが暮らす北海道が豊かであり続けるために
北海道アルバイト情報社でも
環境に配慮した取り組みを行っています。

北海道の森づくりを応援!



木づかい運動



「木づかい運動」とは、国産材を積極的に活用し、間伐をはじめとした森林整備によってCO₂をたっぷり吸収する元気な森づくりを進める国民運動です。北海道アルバイト情報社が行う求人誌の発行は、多くの紙資源を使用する。だからこそ、その原料が生み出される森林という環境へ、出来るかぎり貢献していきたいと考え求人誌の印刷用紙に道産の間伐材を活用しています。

北海道の自然エネルギー



グリーン電力の活用



北海道アルバイト情報社は、自社工場ですべての求人誌の印刷・製本を行っています。その工場で使用する電力の一部(年間10万kWh)について、2008年より「グリーン電力証書」を発行するエナジーグリーン株式会社に発電委託し、石狩市の市民風車「かぜのちゃん」で発電された電力を活用しています。



写真提供:北海道グリーンファンド

今後、エコ名刺を通じて伝えていきたいことは？
今まで、1万8000名あまりのお客様の名刺を作らせていただきましたが、エコ名刺だけで劇的に環境が良くなるというものはありません。けれど、名刺は人と人をつなぐツールですから、渡す人から受け取る人へと、環境について考えるきっかけが広がっていきます。私たちがエコ名刺を通じて伝えたいのはそうした想いです。
また、メールやインターネットのように、コミュニケーションの方法が多様化している時代だからこそ、実際に「会う」ことの大切さも伝えていければと考えています。文字だけのやりとりなど、相手の顔を見ないコミュニケーションは、やはり希薄になりがち。け

れど、実際に会って数分話ただけで、メールの何倍も相手のことが分かるし、顔を知っている相手に人は優しく接することができます。エコ名刺がそうした出会いの場の仲立ちをして、人と人とのつながりが楽しく、温かなものになることを願っています。



日新堂印刷株式会社

各種オフィス用品の印刷業務の他、ホームページ制作やデザイン等を手掛ける。「ちっちゃいけど、世界一誇りにしたい会社(坂本光司 著)」内で紹介され注目を集めている。

札幌市豊平区福住1条1丁目12-1
【TEL】011-853-9636
<http://www.nissindou.co.jp/>

